

## 人間力を鍛え育てる

### <第1部>

- 1 「勉強嫌い」だった小学校時代
- 2 目標を定め「努力」することを学んだ中学校時代
- 3 将来の職業が定まった高校時代
- 4 箱根駅伝優勝・教師を目指した学生時代
- 5 教師人生で数々の試練を乗り越え、自らを磨いてきた経験
- 6 姿勢の大切さ、前向きな姿勢の大切さ

### <第2部>

- 7 中学校生活で大切なこと（元中学校体育教師が教えます）
- 8 短距離走・長距離走を速く走る方法
- 9 高校受験どうすればいいの？
- 10 通知表をアップする方法
- 11 これからの砧小学校、子どもたちがどう変わっていくのかをお伝えします
- 12 人間力とは  
本当の実力 = (〇力 + 〇力) × 〇力

平成 28 年 9 月 12 日

P T A 会員の皆様

砧小学校 P T A  
家庭教育学級委員長 三浦 久代

## 第 1 回家庭教育学級 開催報告

暑さの中にも新涼を感じられる頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

第 1 回家庭教育学級を 7 月 11 日（月）に開催いたしました。

今回は「人間力を鍛え育てる」をテーマに、臼井潤一校長先生ご自身の幼少時代から現在に至るまでの豊富な経験をもとに講演をしていただきました。

### テーマ『人間力を鍛え育てる』



#### 《講演内容の紹介》

##### ・子ども時代、学生時代のお話

小学生時代は勉強嫌いで、いたずらもたくさんしていました。小学 5 年生の時のマラソン大会で上位に入ったことをきっかけに走るようになりました。高校では陸上部の部長になり後輩を育てる楽しさを実感し、そこから教師を目指し勉強に力を入れ始めました。大学時代は駅伝部に入部し、とても厳しい上下関係を経験しました。その時の厳しい経験により「今どんなに辛くてもあの時の辛さを考えたら、大したことない」と思えるようになりました。

##### ・教師人生で数々の試練を乗り越え、自らを磨いてきた経験を通じて

当時、教師は狭き門で若干名しか採用がありませんでした。中学校で時間講師をし、部活動にも携わる状況の中、往復の電車やトイレの時間さえ勉強にあてるなど、人生の中で 1 番勉強しました。そして 3 回目の挑戦で 3 5 倍の倍率の中、ついに正式採用されました。その後、いわゆる「荒れている」学校で長年勤務してきました。

教師人生での数々の試練や経験を通じて、子どもに対する接し方でとても大事だと思ったことは「いけないことをした時にはきちんと本気で叱る」ことです。私は叱る時、みんなの前では叱らず、1 対 1 で向かい合い真剣に話をしました。きちんと向き合い本気で叱ることは、とても大事だと思います。もう一つは、「先の見通しをしっかりと持たせてあげ、それを乗り越えさせてあげる教師・大人」であることです。私はそういう教師を目指してきましたし、親としてもそこがとても大事なのではないかと思えます。あと、「当たり前」ということは見逃しがちですが、教室で目立たなくても真面目にコツコツ頑張っている子を「当たり前」だと思わず、その「真面目にコツコツやっていることがとても正しく、尊いこと」なのだと褒めてあげることが大事だと思っています。褒めてあげているうちに自信をつけ、発言するようになっていく子どもの姿を今まで何人も見てきました。

・姿勢の大切さと素直さ

「姿勢」の大切さと、「前向きな姿勢」の大切さ。姿勢が正しく頭が正しい位置にあることは、運動をする上で大事なことであり、血液の循環が正しく回るため学力にもとても良い影響を与えます。

素直な子に育てるのはとても大切なことだと思います。大人はその子のためを思い、いろいろな言葉をかけています。素直であればそれらのいろいろな言葉が心に入ります。

・中学校生活で大切なこと（元中学校教師の視点から）

中学校に入ったら暇にさせないよう、部活動でも何でも良いので何か熱中するものを見つけると良いと思います。

学習面では、復習を欠かさないことが1番大事だと思います。習った当日、1週間後、2週間後と計3回復習すると定期テストまでに忘れないと言われています。

・短距離走・長距離走を速く走る方法

ポイントの1つとしては腕の振り方で、きちんと腕を大きく（目の高さまで）速く振ると足もそれにつられて大きく速く動きます。

・人間力とは

相田みつをさんの言葉で「使ったところが強くなる」とあります。頭でも体でも、まさにそのとおりで、体がしっかり育っていないと、いくら頭だけ良くてもいけません。辛い経験の時に逃げてしまったらいけないと思います。そこで頑張れる気力が大事だと思います。

$$\text{本当の実力} = (\text{学} \text{力} + \text{体} \text{力}) \times \text{気} \text{力}$$

最後に、子どもはなかなか親の言う通りに育ちませんが、私は「子は親のようになる」と思っています。お母さんたちが子どものことをしっかり考え、子どもたちのためにできることをしっかりやっていたら、子どもたちはきっとそのような子になると思います。

これから先、子育てに悩むこともあるかと思いますが、私であれば校長室の扉はいつも開けていますし、電話でも結構ですので、いつでも気軽に相談していただければと思っています。

《参加者の意見・感想 一部紹介》

- ・校長先生の話聞き、人柄を知ることができて良かった。
- ・講話のなかの「親の言うようには育たないが、親のようになる」という言葉が心に残りました。自分自身を見つめ直したいと思った。
- ・子どもとの接し方について改めて考えさせられた。これからの子育てに生かしていきたい。

～家庭教育学級委員より～

当日は、67名の保護者の方々に加え臼井校長先生の教え子の方もご出席くださり、和やかな雰囲気の中、開催されました。上記以外にも自問清掃や2学期より実施される朝遊び・朝ランニングのお話もしていただきました。これからの砦っ子がどう成長していくのか、とても楽しみに感じるとともに今後の子育てに生かせる事をたくさん学ぶことができる講演でした。